

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	神林 康弘
所属機関名	獣医学部獣医学科
職位	教授
在籍年	7 年

教育の責任

獣医学部獣医学科に所属していて、公衆衛生学に関連する講義や実習（獣医公衆衛生学総論、獣医公衆衛生学実習、生物統計、公共獣医事情報解析実習、セキュリティー学、グローバル食品管理科学、国際生物資源学（1 コマ））と卒業研究 I-III を担当している。卒業研究では疫学研究の指導を行っている。獣医師国家試験対策である総合獣医学演習 II で公衆衛生学総論を担当している。共用試験実施委員会の委員長として共用試験の実施（主に vetCBT）に携わっている。国家試験対策委員会委員を担当したこともある。

教育の理念

公衆衛生学は社会に直結した分野であり、学生が将来獣医師になった時に必要になってくるものなので、どのような所を調べれば情報を得られるか、またどのように情報を読むことができるか判断できるようにする（例えば、厚生労働省の HP にある獣医師が診察した時に報告しなければならない動物の病気に関する情報）。担当している公衆衛生学総論をはじめとした公衆衛生関連の問題は、獣医師国家試験によく出るので、学生にどのような問題が出るのか理解してもらう。また、獣医師に直接関係しなくても、人口統計（人の平均寿命の求め方や合計特殊出生率からみた将来人口の増減の推測など）など生活していく上で知っておくべきことも多いので、学生には実際の調査結果（統計）をもとに日本はどのような状況にあるのかを知ってもらうようにする。毎年のように公衆衛生に関するデータや法律が変わるので、最新の情報を把握して学生に伝えるようにする。学生には統計解析やプレゼンテーションを行うための手順や気をつける点なども身につけてもらう。

公衆衛生は多くの分野と関連しているので、どのように結びついているかも学生に理解してもらう。

教育の方法・方針

獣医公衆衛生学総論

vetCBT や獣医師国家試験では同じパターンの問題（法律や感染症の対策など）が出ることが多いので、繰り返し説明したり、3 回に分けて試験（20 問、30 問 2 回）を行ない、学生がパターンを把握できるようにしている。また、獣医師国家試験の過去問を多く取り上げている。vetCBT や獣医師国家試験に対する獣医学部の学習支援の HP について紹介している。法律は vetCBT や獣医師国家試験に多く出る分野であるし、公衆衛生では実際に法律を基に判断・活動していくことが多いので、詳しく説明している。また、法律はよく改正されるので、チェックするように伝えている。省庁や国際機関の HP や国の研究所の HP を紹介して、公衆衛生学の情報収集や獣医師国家試験の勉強への利用について伝えている。獣医師国家試験の感染症の疫学問題などで使われる図や表がどういうところ（例えば、国立健康危機管理研究機構の国立感染症研究所の HP）から使用されているかを伝えている。国家試験で大切な内容か、国家試験にはほぼ出ないが実戦で重要な内容（公衆衛生上の獣医師の役割など）が分かるように説明している。

獣医公衆衛生学実習

2 年次に行われるが、内容は 3 年次に講義がある環境衛生に関する実習なので、環境衛生担当の先生に実験を行う前に解説してもらっている。また、すべての実験に対してレポートを作成してもらうとともに、課題も課して理解が深まるようにしている。獣医師国家試験の過去問

も紹介している。

生物統計

基本的な統計解析手法を紹介し、統計解析ソフト（EZR）でできるようにしている。

アドバンスト科目

より実践的な内容について紹介している（自然災害や人工災害の動物への影響（Web 上にあるウクライナでの戦争の動物の映像も使用）、食の安全を守るための対策、微生物の利用や管理など）。発表を行ってもらい講義や実習では、班で講義に係るテーマを決めてもらい、それについて調べ発表してもらっている。長時間のプレゼンテーションを行うことがあるかもしれないので、実習では班で 30 分間の発表と 10 分間の質疑応答を行ってもらっている。より良いスライドの作成や、話の流れを作るためのポイントも説明している。

教育の成果

学生アンケート結果（総合評価）は、概ね高評価であった。獣医公衆衛生学総論のアンケートで、27 名中 23 名から「この分野への理解が深まった」との回答があった。このことは講義中に行ったレポートからも見てとれた。「資料がまとまっていて分かりやすかった」とのコメントがあった。講義内レポートでは、「公衆衛生学が今までに学んだいろいろな分野と関連することがわかった」や「自分たちが体験している内容と関係していることがわかった（新型コロナウイルス感染症に関することや学校保健安全法による出席停止など）」というコメントがいくつかあった。

今後の目標

公衆衛生には国や地方自治体などが実施していることも多く含まれる。また、広範囲の内容を取り扱っている。このように公衆衛生は社会に直結しているので、国際機関を含めより多くの獣医に関係する HP を調べて、必要な内容を少しずつ追加していく。獣医師国家試験に出る公衆衛生系科目の問題は比較的簡単な問題が多く、同じような問題が出る傾向にある。問題数も多い。学生にはそのように伝えてきたが、より意識してもらいように学生への伝え方を工夫する。また、内容が学生に定着できるように教え方を探索する。令和 7 年度に獣医師国家試験出題基準が改正され、第 78 回獣医師国家試験はこの基準に沿って出題されることになるので、この基準に合わせた内容を追加・修正する。

根拠資料

2025 年度の Mylog 内の学生アンケート（ただし、回答率は低い。2024 年度よりは上がっている。）

2025 年度「獣医公衆衛生学総論」の講義内レポート（「公衆衛生学とはどのような学問だと思ったか」という項目あり）